

SEIKO

取扱説明書

I N S T R U C T I O N S

G510

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。
なお、この説明書はお手元に保管し必要に応じてご覧ください。

※ 保証期間内でも電池交換は有料となります。

お買い上げの時計には検査用のモニター電池が入っています。所定の年数よりも早めに電池が切れることがあります。



警告

取扱いを誤った場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。



警告

時計から電池を取り出さないでください



警告

乳幼児の手の届くところに時計本体や部品を置かないでください

電池や部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。

万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。



警告

次のような場合、ご使用を中止してください

- 時計本体やバンドが腐食等により鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出してきた場合

※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口（裏表紙に記載）にご相談ください



注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。



注意

以下の場所での携帯・保管は避けてください

- 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品・防虫剤・シンナーなど）
 - 5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ ○ 高湿度なところ
 - 磁気や静電気の影響があるところ ○ ホコリの多いところ ○ 強い振動のあるところ
- ※ 電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。



注意

アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医に相談してください。



注意

その他のご注意

- 提げ時計やペンダント時計のひもやチェーンが衣類や手・首などを傷つけるおそれがありますのでご注意ください。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。

目次

操作について

| | | | |
|--------------------|----|-----------------|----|
| 特長 | 6 | デモ表示について | 16 |
| 装着のしかた | 8 | 時刻表示ロック(固定)のしかた | 17 |
| ボタンの名称と表示の切り替え | 12 | 時刻・カレンダーの合わせかた | 18 |
| 「時刻表示」におけるアニメーションと | | 電池について | 21 |
| 「昼と夜の表示」について | 15 | 製品仕様 | 22 |

ご注意いただきたいこと

| | |
|--------------|----|
| 電動泳動パネルについて | 25 |
| アフターサービスについて | 26 |
| 保証について | 28 |
| お手入れについて | 30 |
| 防水性能について | 32 |

操 作 に つ い て

特長

この時計は、世界初の電気泳動方式のパネルを使用したウォッチです。
パネルの特性を活かし、表示部が時計の形に沿った形状になっています。

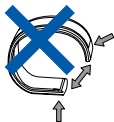
- 時刻表示機能・・・「時、分」を表示できます。
- カレンダー表示機能・・・「月」「日」を表示できます。
- フルオートカレンダー機能・・・月末のカレンダー修正の必要がありません。
(2005～2099年)

■ご使用前にお読みいただきたい注意事項

この時計の取扱い上、特に注意していただきたい内容

1. バングルに力を掛けないでください。
 - ・バングル（ケース）に無理な力が加わると変形します。ケースが変形した場合、構造が特殊なため形状を修復することは困難となります。その場合、ケース交換（有償）による修理となりますので、無理な力を掛けたり、落としたり、ぶつけないようご注意ください。

- ・ ケースが変形するような力が掛かった場合、内部のパネルや回路等も損傷を受ける場合があります。
- ・ 携帯中および脱着時においても無理な力が掛からないようにしてください。
- ・ バングルの開口部の寸法は33mmです。腕周りの寸法として、145mm～175mmの範囲が装着の目安になります。
※このサイズであっても腕周りのサイズによって、装着に適さない場合があります。



2. ガラスの扱いについて

- ・ ガラスはアクリル（プラスチック）製のため、傷つきやすくなっています。携帯中、他のものと触れることにより、キズがついたり割れてしまう場合もありますので十分ご注意ください。
※ガラスだけの交換修理は可能です



3. 水および水分の浸入に注意ください

- ・ この時計は非防水です。水に触れるようなご使用はさけてください。
- ・ 誤って水に触れてしまった場合、すぐに乾いた布等で水分をふき取ってください。
- ・ 時計内部に水が入ってしまった場合、内部の故障の原因になります。



装着のしかた

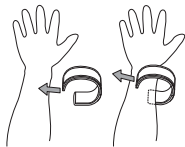
- ・固定式のバングル構造のため腕周りのサイズによって装着性に影響があります。装着方法を充分ご理解の上、ご使用ください。

①バングルの開口部を利用し、腕にセットします。

〈このような入れかたもあります〉



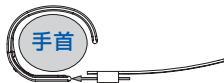
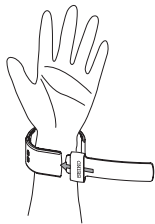
親指と人差し指の比較的厚みのない部分を利用して腕に装着できる方はこの方法も有効です。



警告

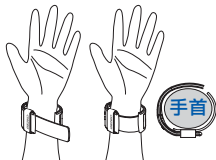
装着の際、ケースに無理な力を掛けないようにしてください。
固定式のバングルのため、開口部を開くような力は掛けないでください。

②落下防止ウレタンパーツを時計にセットしてください。



落下防止ウレタンパーツの斜めに溝がある面が内側になるようにセットします。

- ③腕に装着後、落下防止ウレタンパーツをバングルの中にセットします。

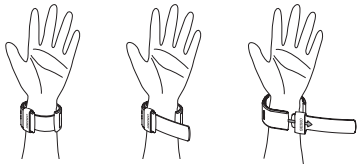


 **警告**

落下防止ウレタンパーツを正しくセットしない場合、携帯中に時計が脱落したりする可能性がありますので、必ず落下防止ウレタンパーツを正しくセットしてご使用ください。
また、落下防止ウレタンパーツを正しくセットしていても、腕周りが細い方は、携帯中に時計が脱落する場合がありますので、携帯中は常に脱落の危険性があることを考慮し、落下防止ウレタンパーツがずれていないかをチェックする等の注意が必要です。

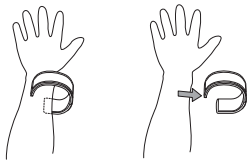
●外しかた

- ①落下防止ウレタンパーツのはしをバングルの中から引き出し、バングルから落下防止ウレタンパーツを外してください。

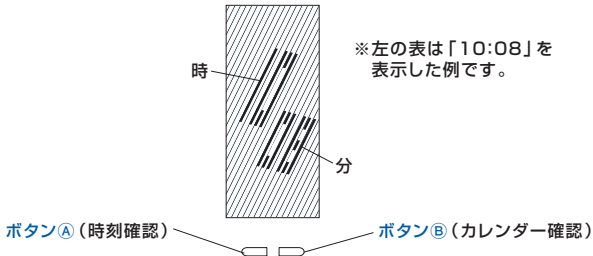


- ②装着した方法とは逆の方法で、腕からバングルを外してください。

※ケースに無理な力を掛けないようにしてください。
開口部を開くような力は掛けないでください。

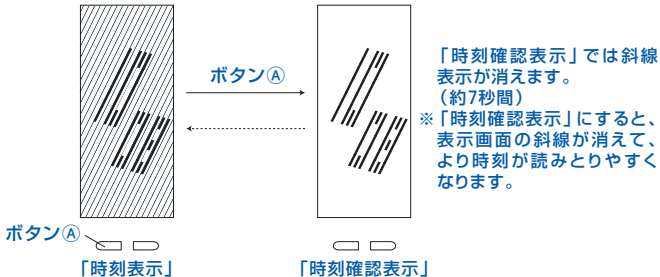


ボタンの名称と表示の切り替え



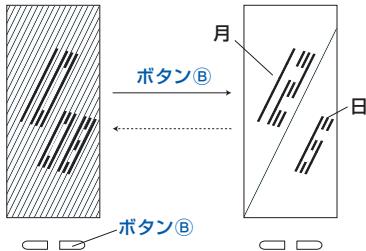
- ※2つのボタンはタッチセンサーになっていますので、押し込む必要はありません。
ボタンとその周辺を一緒に指で触れるようにしてください。指の表面が乾いている時はセンサーが感知できない場合がありますが、若干湿り気があると反応しやすくなります。

- ボタン①に触れると「時刻確認表示」に切り替り、また自動的に「時刻表示」に戻ります。



- ・表示が切り替わる際、アニメーション表示をします。

- ボタン⑧に触れると「カレンダー表示」に切り替り、また自動的に「時刻表示」に戻ります。



「カレンダー表示」では「月」と「日」(約7秒間)
※左の図は「12月6日」を表示した例です。

「時刻表示」: 現在時刻(時、分) 「カレンダー表示」: 月、日

- ・表示が切り替わる際、アニメーション表示をします。

「時刻表示」におけるアニメーションと「昼と夜の表示」について

- ・「分」が切り替るときは、右下から「分」の表示部分でアニメーション表示します。
- ・「時」が切り替るときは、右下から、全体でアニメーション表示します。
- ・「6:00～17:59」(昼)と「18:00～翌日の5:59」(夜)で表示を切り換えます。



○ ○
昼の表示



○ ○
夜の表示

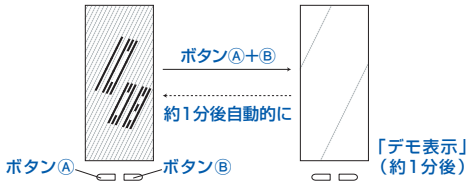
デモ表示について

・表示全体でアニメーション表示を行なう「デモ表示」ができます。(約1分間)

・「デモ表示」終了後、自動的に「時刻表示」に戻ります。

〈デモ表示への切り換えかた〉

①「時刻表示」において、ボタン①とボタン②を同時に触れてください。



※ ボタンに触れる際、ボタン①または②のどちらかを先に触れた場合は、そのボタン機能(例:ボタン①→時刻確認表示)の表示に切り替わり始めますが、両方に触れた時に「デモ表示」に切り替わります。

※ 「デモ表示」中に、ボタン①または②に触れると、「時刻表示」に戻りますので、途中で「デモ表示」を中止したい場合は、ボタン①または②に触れてください。

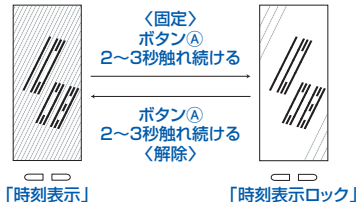
時刻表示ロック（固定）のしかた

・ ボタン誤入力を防止するために、表示を「時刻表示」に固定することができます。

〈「時刻表示ロック」への切り換えかた〉

① 「時刻表示」において、ボタン①に2～3秒触れ続けてください。

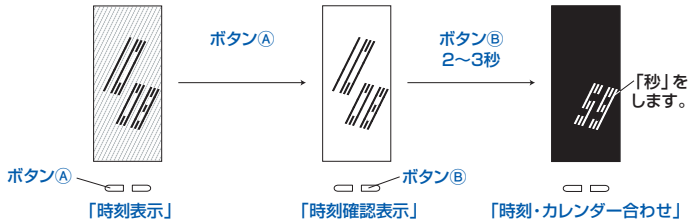
ロックを解除するときも、「時刻表示」においてボタン①に2～3秒触れ続けてください。



※ 「時刻表示ロック」の状態では、「カレンダー確認」等のボタン操作はできません。

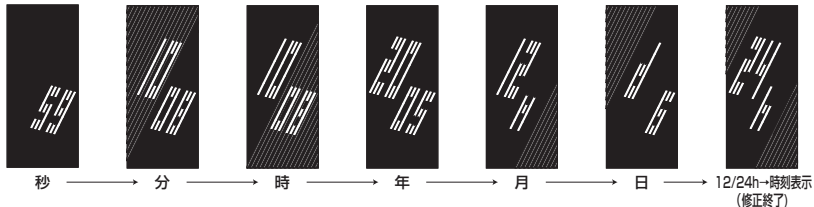
時刻・カレンダーの合わせかた

- ① 「時刻表示」においてボタン①に触れ、「時刻確認表示」の状態です。ボタン②を2～3秒触れ続けてください。「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。



※ 「時刻確認表示」は約7秒で「時刻表示」に戻ってしまいますので、ボタン② (2～3秒) の操作は、「時刻確認表示」の状態で行なってください。

- ②ボタン④に触れ、合わせたい表示を呼び出します。
ボタン④に触れるたびに表示する内容が替わります。



※「24h(または12h)」が表示している状態でボタン④に触れると時刻表示に戻りますので、合わせたい箇所がある場合は、操作①から行ってください。

※この状態で2～3分間操作をしないと時刻表示に戻ります。

③ ボタン⑥に触れて合わせます。ボタン⑥を1回触れるごとに表示している所の数字が1つずつ進みます。触れ続けると早く進みます。

※ ボタン⑥に触れ続けて、数字が早く進む際、「分」「年」「日」は10ずつ進みますのでご注意ください。

● 秒合わせ・・・「秒」を点滅させ時報に合わせてボタン⑥に触れると、00秒に合います。「秒」が30～59のときは「分」が1分くり上がって00秒に合います

● 時間制の合わせ・・・「24h(または12h)」が点滅している場合、ボタン⑥に触れるたびに「12時間制」と「24時間制」の切り換えになります。

※ この選択がどちらでも「時」の修正の際に表示されるのは、24時間制の表示になりますので、ご注意ください。

※ 「時刻表示」において「時間制」を示す表示(AMまたはPM)はありませんので、ご注意ください。

④ ボタン①を押して、「24h(または12h)」が点滅する状態(時間制切替)で、さらにボタン①に触れると「時刻表示」に戻ります。

電池について

(1) 電池寿命

この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約2年間作動します。

ただし、「カレンダー確認」または「時刻確認」を1日10回、および「デモ表示」1日1回を基準に計算していますので、それ以上多く使用した場合は上記の期間以下で 電池寿命切れとなります。

(2) 最初の電池

お買い上げの時計には検査用のモニター電池が入っています。所定の年数よりも早めに電池が切れることがあります。

(3) 電池交換

・この時計は特殊な構造のため、電池交換にあたっては特殊技能が必要です。

電池交換の受け付けはお買い上げ店、または弊社お客様相談窓口でお受けいたしますが、交換作業はすべてセイコーサービスセンターで行います。

時計は取扱い店からセイコーサービスセンターに送付され、電池交換と同時にパッキング交換などを実施しますので、10日間前後のお預かり期間になる場合がございます。

※時計を絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

・電池交換は保証期間内でも有料となります。

・10気圧防水以上の時計は、防水検査をご依頼ください。

防水検査は日数を要しますので期間をご確認ください。

・電池交換してもすぐ止る場合はオーバーホールが必要です。

(4) 電池寿命予告機能

・電池寿命切れが近づくと、右下部分に 電池寿命切れ予告マークが表れます。

※この表示に切り替ると「時刻表示ロック」および「デモ表示」への切り換えができなくなります。



1分ごとに白黒が
反転表示します

電池寿命切れ
予告マーク

製品仕様

- 1.水晶振動数・・・32,768Hz (Hz=1秒間の振動数)
- 2.精度・・・・・・・・平均月差±20秒 (気温5℃～35℃において腕につけた場合)
- 3.作動温度範囲・・・-5℃～+50℃ ただし表示機能は0℃～+50℃
※ 0℃付近では、コントラストが低下する場合があります。
- 4.表示体・・・・・・・・電気泳動式パネル
- 5.駆動方式・・・・・・・・スタティック駆動
- 6.使用電池・・・・・・・・小型リチウム電池SB-T14:1個
- 7.電池寿命・・・・・・・・約2年
- 8.電子回路・・・・・・・・発振、分周、駆動 (C-MOS-IC) :2個

※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

ご注意ください

電気泳動パネルについて

- この時計の表示部は「電気泳動パネル」と呼ばれる特殊な表示体を使用しています。
- 表示方式として注目されている「電子ペーパー」と呼ばれる技術の1種です。
- 米国E Ink社[®]の表示体を採用し、その表示体に対応した回路をSEIKOが独自に開発し商品化したものです。
- この電気泳動パネルは、7年をすぎますとコントラストが低下したり、数字が読みにくくなる可能性があります。お買上げ店、または弊社お客様相談窓口にて交換をお申しつけください。有料にて交換を申し受けます。

アフターサービスについて

修理用部品について

- この時計の修理用部品の保有期間は通常7年間を基準としています。
- 修理の際、一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

電池交換について

- 電池交換はお買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
(交換の際に電池の回収をおこなっております。)
その際防水性能を維持するためパッキン交換をご依頼ください。
- 電池交換は保証期間内でも有料となります。
- 10気圧防水以上の時計は、防水検査をご依頼ください。
防水検査は日数を要しますので期間をご確認ください。
- 電池交換してもすぐ止る場合はオーバーホールが必要です。

オーバーホール(分解掃除)について

時計は精密機械です。部品の油切れや磨耗により止まり遅れが生じることがあります。その際にはオーバーホールをご依頼ください。

保証と修理について

- 修理やオーバーホールの際は、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内の場合は必ず保証書を添えてください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりです。よくお読みいただき大切に保管してください。

保証について

取扱説明書にそった正常な使用により、お買い上げ後1年以内に不具合が生じた場合には、下記の保証規定によって無料で修理・調整いたします。

保証の対象部分

- 時計本体（ムーブメント・ケース）及び金属バンドです。

保証の適用除外（保証期間内あるいは保証対象部分であっても、次のような場合には有料になります）

- 電池交換及び皮革・ウレタン・布等のバンド・付属品の交換
- 事故または不適切な取扱いによって生じた故障および損傷
- ご使用中に生じるキズ・汚れ等
- 火災・水害・地震等の天災地変による故障及び損傷
- 保証書記載項目の全てが記入された保証書のみが有効です。
故意に字句を書き換えた場合は規定の無償修理は受けられません。

保証は、保証書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証書は日本国内のみ有効です。

保証を受ける手続き

- 保証対象の不具合が生じた場合は、時計と別紙保証書をご持参の上、お買い上げ店にご依頼ください。
- お買い上げ店の保証が受けられない場合には、「セイコーウォッチ株式会社 お客様相談窓口」に保証書を添えてご依頼ください。

その他

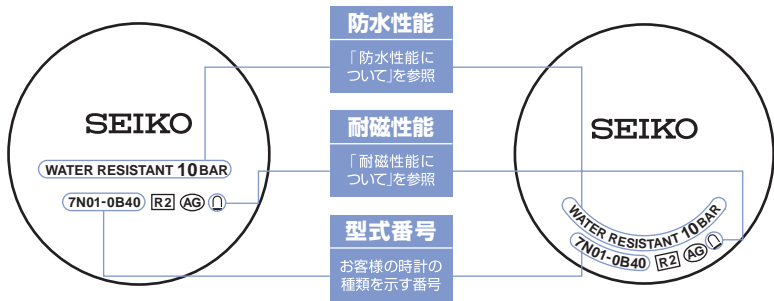
- 修理のとき、ムーブメントを交換させていただいたり、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどに、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。ご使用部品の保有期間は本取扱説明書(P.26)をご参照ください。
- 金属バンド等の調整は、お買い上げ店または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。上記以外の販売店での調整は有料になります。

お手入れについて

日頃からこまめにお手入れしてください

- 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布で拭き取るように心掛けてください。
- すきま（ボタン周り、裏ぶた周りなど）の汚れは柔らかい歯ブラシが有効です。

時計の裏ぶたでも性能と型式の確認ができます



※ 上記の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なります。

防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を
下記の表でご確認の上ご使用ください。

(「P.31」をご覧ください)

| 裏ぶた表示 | 防水性能 |
|-----------------------------|-------------------------|
| 表示なし | 非防水です。 |
| WATER RESISTANT | 日常生活用防水です。 |
| WATER RESISTANT 5 BAR | 日常生活用強化防水で5気圧防水です。 |
| WATER RESISTANT 10 (20) BAR | 日常生活用強化防水で10(20)気圧防水です。 |



注意

○ 防水性能を維持するため、電池交換の際は必ずパッキン交換をご依頼ください。

○ また電池交換の際、10気圧防水以上の時計は防水検査をご依頼ください。

お取扱方法

水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。

日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。



警告

水泳には使用しないで下さい。

水泳などのスポーツに使用できます。

空気ボンベを使用しないスキンドайビングに使用できます。

⚠ 警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないで下さい

BAR（気圧）表示防水時計はスキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる苛酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウォッチをご使用下さい。

⚠ 注意

※ 万一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口（裏表紙に記載）にご相談ください。



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないで下さい

時計内部に水分が入ることがあります。

⚠ 注意



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けて下さい

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化や、ステンレスが錆びることにより、防水不良になる恐れがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めてしまうからです。



直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になる恐れがあります。

Thank you very much for choosing a SEIKO watch.
For proper and safe use of your SEIKO watch,
please read carefully the instructions
in this booklet before using.

Keep this manual handy for easy reference.

※ Battery replacement is at cost even within the guarantee period.

The battery in the watch at the time of purchase is a monitor battery inserted in the watch at the factory for performance checks.

Therefore, the battery may run down earlier than the specified period.

WARNING

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.



Do not remove the battery from the watch.



Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children.

Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the battery or accessories.

If a baby or child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.



Immediately stop wearing the watch in following cases.

- If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
- If the pins protrude from the band.

※ Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the back cover).



CAUTIONS

To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.



CAUTIONS

Avoid the following places for wearing or keeping the watch.

- Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
- Places where the temperature drops below 5 °C or rises above 35 °C for a long time
- Places of high humidity
- Places affected by strong magnetism or static electricity
- Dusty places Places affected by strong vibrations
- ※ Do not leave a dead battery within the watch for a long time as leakage might occur.



CAUTIONS

If you observe any allergic symptoms or skin irritation

Stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist



CAUTIONS

Other cautions

- Note that there is a risk of damaging your clothes, hand or neck with the band, cord or chain of the pocket watch or pendant watch.
- Do not disassemble or tamper with the watch.
- Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.

CONTENTS

HOW TO USE

| | | | |
|--|----|----------------------------------|----|
| Features | 42 | Demonstration Display | 52 |
| How to wear | 44 | How to lock the "Time Display" | 53 |
| Names of the buttons and change of the display | 48 | How to set the time and calendar | 54 |
| Animation in the "Time Display"/ | | Remarks on the battery | 57 |
| Daytime display and Nighttime display | 51 | Specifications | 58 |

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

| | |
|-----------------------|----|
| Electrophoresis panel | 61 |
| After-sale service | 62 |
| Guarantee | 64 |
| Daily care | 66 |
| Water resistance | 68 |

HOW TO USE

Features

This is the world's first watch to utilize an electronic paper display. The properties of the electronic paper display are integrated into the watch's dial curved along the bangle.

- Time display function... Hour and minute are displayed.
- Calendar display function... Month and date are displayed.
- Fully automatic calendar... No calendar adjustment at the end of the month is required up until the year 2099.

■ Special precautions to be observed before initial use

Read carefully the following precautions on handling the watch.

1. Never apply force to the bangle.

- Excessive force can deform the bangle (case). Should the case be deformed, it is difficult to restore it due to the special construction. In such a case, the watch will require replacement of the case, which will only be replaced at your expense.
- When an excessive force is applied that deforms the case, the built-in panel and/or

integrated circuit can also be damaged.

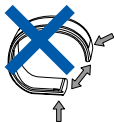
- While wearing the watch as well as when taking off the watch, be careful not to apply excessive force.
- Distance of an opened part of the bangle is 33mm. The bangle is designed to fit on a wrist size of between 145 mm and 175 mm.
※The above information is given only as an indication. Even if the wrist size is within this sizing range, the bangle may not be worn comfortably depending on the wearer's arm structure.

2. Notes on handling the glass

- The glass is made of acrylic (plastic) and can be easily damaged. Take care not to bump the watch against anything hard to prevent the glass from scratches or cracks.
※It is possible to repair the watch with replacement of the damaged glass.

3. Avoid water or moisture entering the movement.

- This watch is not water-resistant. Do not expose the watch to water.
- If the watch is accidentally exposed to water, immediately wipe off the moisture with a dry cloth.
- Entrance of water inside the movement can cause internal malfunctions.



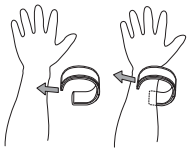
How to wear

- This watch has an inflexible bangle band. Follow the instructions below on how to wear the watch in the way that best suits your wrist size.

① Slide the bangle over your wrist through the gap of the ends of the bangle.

<Alternative way to wear the watch>

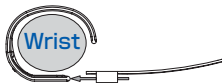
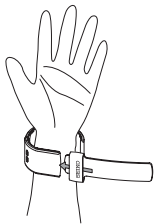
If your palm is thin, slide the bangle over your hand from the "V" between your thumb and forefinger, which is the thinnest part of your hand, and onto your wrist.



Warning!

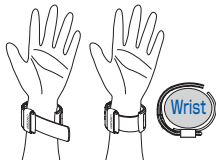
Never apply excessive force to the case to fit the bangle on your wrist.
The bangle is inflexible. Do not attempt to pull the gap of the bangle apart by force.

② Attach the urethane safety catcher to the watch.



Set the urethane safety catcher with its diagonally grooved side facing inward.

- ③ After fastening the safety catcher on your wrist, put the safety catcher inside the bangle.

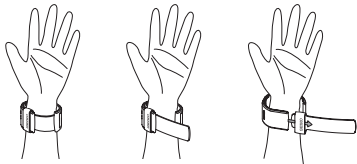


Caution

Make sure that you always set the urethane safety catcher correctly. Failing to do so may cause the watch to drop off while it is being worn. Even if the urethane safety catcher is used correctly, there is a risk of the watch falling off, especially when the wearer's wrist is thin. Therefore it is recommended that you make sure that the urethane safety catcher does not fall out of alignment from time to time while wearing the watch, always keeping the risk of loss in mind.

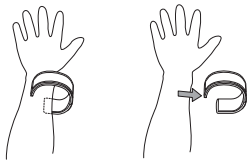
How to remove

① Pull out the tip of the urethane safety catcher to remove it from the bangle.

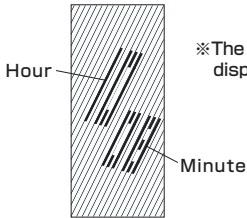


② Reverse the procedure described in the wearing instructions above to remove the bangle from your wrist.

※ Never apply excessive force to the case to remove the bangle from your wrist. Do not attempt to pull the gap of the bangle apart by force.



Names of the buttons and change of the displays



※The left figure is example which displayed "10:08".

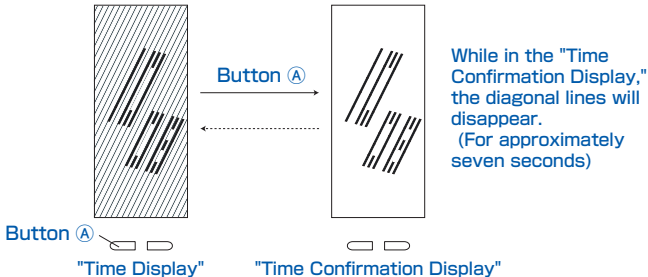
Button Ⓐ (To confirm the time)

Button Ⓑ (To confirm the calendar)



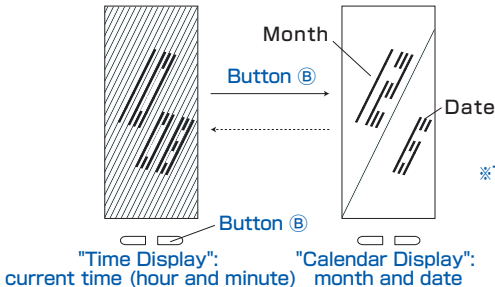
※The two buttons are touch-sensitive, and there is no need to press them down. Simply touch the button and the area around the button with your finger. When the surface of your finger is dry, the touch sensitive device may fail to sense your touch. This can be remedied easily by moistening your skin.

- Touching the button (A) changes the display to the "Time Confirmation Display."
The display will automatically return to the "Time Display" shortly.



- When the display changes, the animation will be shown.

- Touching the button **ⓑ** changes the display to the "Calendar Display." The display will automatically return to the "Time Display" shortly.



While in the "Calendar Display," month and date will be displayed. (For approximately seven seconds)

※ The left figure is example which displayed "December 6".

When the display changes, the animation will be shown.

Animation in the "Time Display"/ Daytime display and Nighttime display

- When the minute changes, the animation will be displayed from the bottom right toward the minute-digits area.
- When the hour changes, the animation will be displayed from the bottom right toward the whole display.
- The display changes between the time ranges "from 6:00 to 17:59" (daytime) and "from 18:00 to 5:59 the next morning" (nighttime).



Daytime display



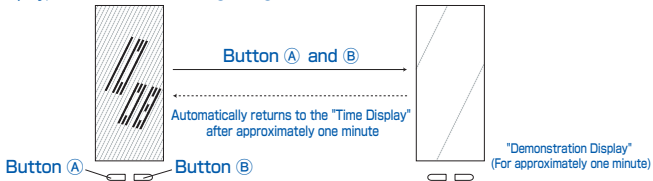
Nighttime display

Demonstration Display

- Animation can be viewed over the whole display in the "Demonstration Display." (For approximately one minute)
- When the animation has finished, the display automatically returns to the "Time Display."

<How to change the display to the "Demonstration Display">

① While in the "Time Display," touch both the button (A) and (B) at the same time.



※Be sure to touch the both buttons simultaneously to view the demonstration. If you touch one of either button (A) or (B) slightly ahead of the other, the touch sensitive device will only detect the function of the button first touched, for instance, if you touch the button (A) ahead of the button (B), the display will only change to the "Time Confirmation Display." Only with the simultaneous pressing of the both button (A) and (B) can the display be changed to the "Demonstration Display."

※If you touch either button (A) or (B) while in the "Demonstration Display," the display returns to the "Time Display." To quit the demonstration, touch either button (A) or (B).

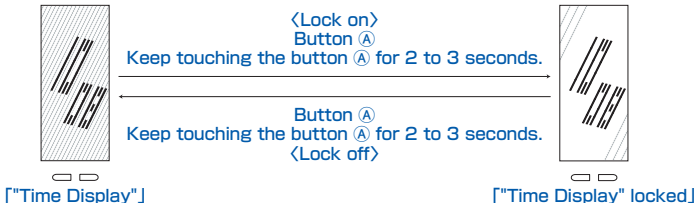
How to lock the "Time Display"

- The "Time Display" can be locked to prevent inadvertent operation.

〈How to lock the "Time Display"〉

① While in the "Time Display," keep touching the button (A) for 2 to 3 seconds.

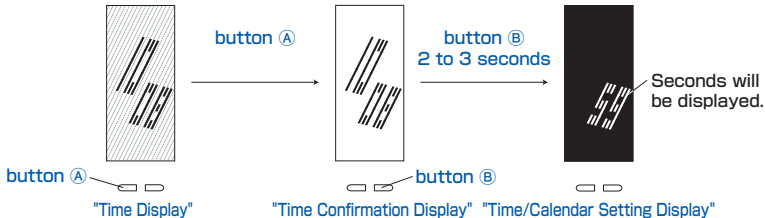
※ To unlock the display, keep touching the button (A) for 2 to 3 seconds.



※ While the display is locked to the "Time Display," other functions such as the "Calendar Confirmation" cannot be used.

How to set the time and calendar

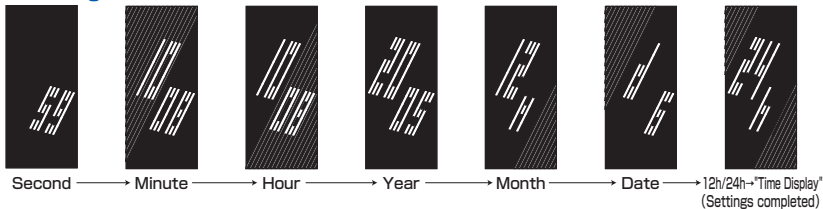
- ① While in the "Time Display," touch the button ① to change the display to the "Time Confirmation Display." And then keep touching the button ② for 2 to 3 seconds. The display enters the "Time/Calendar Setting Display."



- ※ Touch the button ② (for 2 to 3 seconds) immediately after the display changes to the "Time Confirmation Display" otherwise the display will automatically return to the "Time Display" within approximately 7 seconds.

② Touch the button (A) to display the item you wish to set.

With each pressing of the button (A), the item shown on the display will change in the following order.



※ If you touch the button (A) while "24h (or 12h)" is shown on the display, the display returns to the "Time Display." When this happens, carry out the procedures from ① above to resume setting.

※ If the watch is left untouched in this state, the display automatically returns to the "Time Display" within 2 to 3 seconds.

- ③ Touch the button **(B)** to set the item. With each touching of the button **(B)**, the digits will increase by one. Keep touching the button **(B)** to quickly increase the digits.
- ※ When setting the minute, year and date, continuous touching of the button **(B)** will quickly increase the digits by ten.
- **Setting the second**••To reset the second digits to "00," touch the button **(B)** in accordance with a time signal while the second digits are flashing. If the button **(B)** is touched while the second digits count any number between "30" and "59," one minute is added and the second digits are immediately reset to "00."
 - **Setting the time format**••To set the preferred time format, 12-hour time format or 24-hour time format, touch the button **(B)** while "24h (or 12h)" is flashing.
 - ※ Regardless of the time format being selected, when setting the hour, the hour digits will always be displayed in 24-hour time format.
 - ※ No "AM" or "PM" indicator appears in the "Time Display" when 12-hour time format is selected.
- ④ Touching the button **(A)** while "24h (or 12h)" is flashing (change of the time format) will return the display to the "Time Display."

Remarks on the battery

(1) Battery life

When a new standard battery is installed, this watch will operate for approximately two years. However, the battery life may become shorter than two years if the display changes to the "Calendar Confirmation Display" or to the "Time Confirmation Display" more than 10 times a day, and if the "Demonstration Display" is shown more than once a day.

(2) The battery in the watch at the time of purchase is a monitor battery inserted in the watch at the factory for performance checks.

Therefore, the battery may run down earlier than the specified period.

(3) Battery change

- Because this watch is special structure, a special skill is necessary for battery exchange. Contact the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER to have the battery with a new one, but exchange work is done in SEIKO SERVICE CENTER.

- Battery replacement will be at cost even within the guarantee period.

- For a water resistant watch with 10 BAR or above, a water resistant performance check is also recommended.

Please note that it may take some days to conduct the check.

- If the watch runs down on a new battery, it requires an overhaul.

(4) Battery life indicator

- When the battery life indicator appears at the bottom right of the display, it means that the battery is expiring.



The indicator will be highlighted, inverting the black and white in one-minute increments.

← Battery life indicator



*While the battery life indicator is flashing, the display cannot be locked or changed to the "Demonstration Display."

Specifications

1. Frequency of crystal oscillator ... 32,768 Hz (Hz = Hertz Cycles per second)
2. Loss/gain (monthly rate) Less than 20 seconds (worn on the wrist at a temperature range between 5°C and 35°C)
3. Operational temperature range ... Between -5°C and 50°C (Between 0°C and 50°C for display)
※ Contrast can deteriorate at around 0°C
4. Display media Electric paper display (EPD)
5. Driving system Static driving system
6. Battery Miniature lithium battery SB-T14, 1 piece
7. Battery life Approximately 2 years
8. IC (Integrated Circuit) Oscillator, frequency divider and driving circuit (C-MOS-IC), 2 pieces

※The specifications are subject to change without prior notice due to product improvements.

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

Electrophoresis panel

- It is used special display called an "electrophoresis panel" for display of this watch.
- This is a technical kind called "electronic paper" attracting attention as a new display method.
- With display of E Ink Corporation, SEIKO developed a circuit corresponding to the display originally and commercialized it.
- When this electrophoresis panel is over seven years, contrast deteriorates and is hard to come to read a letter.
- Contact the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER to have the electrophoresis panel with a new one.

After-sale service

Repair parts

- The repair parts of this watch will be retained usually for 7 years.
- Some alternative parts may be used for repair if necessary.

Battery replacement

- Contact the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER to have the battery replaced with a new one.
It is recommended to exchange the gasket at the same time to maintain the water resistant performance.
- Battery replacement will be at cost even within the guarantee period.
- For a water resistant watch with 10 BAR or above, a water resistant performance check is also recommended.
Please note that it may take some days to conduct the check.
- If the watch runs down on a new battery, it requires an overhaul.

Notes on overhaul

The watch is a precision device. If the parts run short of the oil or get worn out, the watch may stop its operation or lose time. In such a case, have the watch overhauled.

Notes on guarantee and repair

- Contact the retailer the watch was purchased from or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER for repair or overhaul.
- Within the guarantee period, present the certificate of guarantee to receive repair services.
- Guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee. Read carefully and retain it.

Guarantee

Within one year from the date of purchase, we guarantee free repair/adjustment service against any defects according to the following guarantee regulations, provided that the watch was properly used as directed in this instruction booklet.

Guarantee coverage

- The watch body (movement • case) and metallic band.

Exceptions from guarantee

In following cases, repair/adjustment services will be at cost even within the guarantee period or under guarantee coverage.

- Battery replacement and change of leather/urethane/cloth band
- Troubles or damage caused by accidents or improper usage
- Scratches or grime caused by use
- Problems and damage caused by acts of god, natural disasters including fire, floods or earthquakes.
- The certificate of guarantee is valid only if all the necessary items are properly filled in. We will not honor an altered or tampered certificate of guarantee for free repair services.

Free repair services are guaranteed only under the period and conditions specified in the certificate of guarantee. It does not affect specific legal rights of a consumer. The certificate of guarantee is valid only in Japan.

Procedure to claim free repair services

- For any defects under guarantee, submit the watch together with the attached certificate of guarantee to the retailer from whom the watch was purchased.
- If repair services cannot be provided by the retailer from whom the watch was purchased, contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER. In this case, the attached certificate of guarantee is also needed.

Others

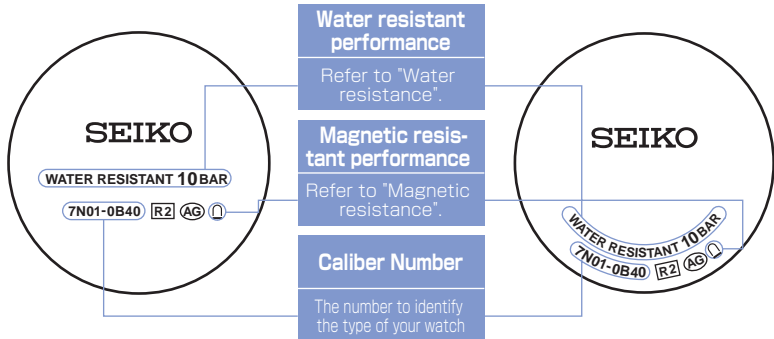
- The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts thereof may be repaired with substitutes if the originals are not available. If necessary, movements will be replaced. Refer to the page 62 of this booklet for the retention period of the parts.
- For length adjustment service of a metallic band, ask the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER. Other retailers may undertake the service on a chargeable basis.

Daily care

The watch requires good daily care

- Wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth
- To clean the clearances (around buttons, case back), a soft toothbrush is convenient.

The case back shows the caliber and performance of your watch



※ The figure above is one example. Performance of your watch is different from above sample.

Water Resistance

Refer the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.

(Refer to " P.67 ")

| Indication on the case back | Water resistant performance |
|-----------------------------|--|
| No indication | Non-water resistance |
| WATER RESISTANT | Water resistance for everyday life |
| WATER RESISTANT 5 BAR | Water resistance for everyday life at 5 barometric pressures |
| WATER RESISTANT 10 (20) BAR | Water resistance for everyday life at 10(20) barometric pressures. |



Cautions

- In order to maintain the water resistant performance at factory-adjusted level, make sure to replace the gasket when changing the battery.
- For a water resistant watch with 10 BAR or above, be sure to have the water resistant performance check when changing the battery.

Condition of Use

Avoid drops of water or sweat

The watch withstands accidental contact with water in everyday life.



WARNING Not suitable for swimming

The watch is suitable for sports such as swimming.

The watch is suitable for diving not using an air cylinder.

WARNING



Do not use the watch in scuba diving or saturation diving.

The various tightened inspections under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches for diving.

CAUTION

- ※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the back cover).



Do not turn or pull out the crown when the watch is wet.

Water may get inside of the watch.

CAUTION



Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time.

Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.



Do not wear the watch while taking a bath or a sauna.

Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.



Do not pour running water directly from faucet.

The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.

G510

BSBG510-A0512

セイコーウォッチ株式会社 <http://www.seiko-watch.co.jp/>

お客様相談窓口〔全国フリーダイヤル〕0120-612-911 (下記の最寄地に着信いたします)

お客様相談室

東京

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-1-10

大阪

〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング 8階